



目次

総則

- 1. 目的 1
- 2. 構成 1

I. 実用編

- 1. 実用編の位置付け 2
- 2. 被災施設の把握までの手順 2
- 3. 手順の詳細 3
- 4. 災害発生時刻別の対応 5

II. 解説編

- 1章 解説編の位置付け 10
- 2章 リモートセンシング技術の解説 11
 - 2. 1 プラットフォームとセンサについて 11
 - 2. 1. 1 リモートセンシングとは 11
 - 2. 1. 2 プラットフォームとセンサの種類 12
 - 2. 1. 3 プラットフォームおよびセンサの特徴比較 15
 - 2. 1. 4 センサとプラットフォームの組み合わせ 20
 - 2. 1. 5 異なるプラットフォームやセンサによるデータ取得時の連携 21
 - 2. 2 データ取得から入手に至るまでの留意点 22
 - 2. 2. 1 データ取得要求から入手に至るまでの時間的制限 22
 - 2. 2. 2 撮影に関する天候および時間的制限（昼／夜） 25
 - 2. 2. 3 災害時における利用上の特例措置 32
 - 2. 2. 4 プラットフォームから運用会社へのデータ伝送方法 35
 - 2. 2. 5 ユーザへの配信方法、所要時間 37
 - 2. 2. 6 災害後の画像データの継続的な入手と災害前の画像データ入手 38
 - 2. 3 災害対応に活用する上での課題 40
- 3章 画像処理手法による被災施設抽出に関する技術 47
 - 3. 1 画像データ処理全体の流れ 47
 - 3. 2 前処理 48
 - 3. 3 被災施設抽出のための画像処理 50
 - 3. 4 被災施設抽出に関する現状と課題 52

III. 巻末資料

- 被災施設抽出の事例 53